

# 周の中国を展望する

毛沢東80歳、周恩来76歳、党と国家のリーダーシップを握る党政治局常務委員の平均年齢は、若い王洪文を入れて計算してもなお70歳に近いという。カリスマ的指導者毛沢東が去ったあとの中国にもたらされるものは、路線問題を含めての主導権争いか、それとも革命の英雄を失った危機感に基づく団結か。

## ●リーダーシップ●

### なお残る

## 文化大革命後遺症

本社 一〇月一日の中国の国

慶節には、病氣と伝えられる周恩来首相がひさびさに登場しただけでなく、文化大革命による失脚幹部が大量に復活して国際的に注目された。建国二五周年を迎え、新生中国もようやく壮年期に達した感があるが、反面すでに高齢に達した毛沢東、周恩来にかわる指導部へのパトタッチを考えねばならない時機にきている。

そこできょうは、中国政治のリーダーシップの分析からはいり、毛・周以後のこの国を予測する、ということで話を進めていきたいと思います。まず、現在の中国の政策決定が、どのような人びとにより、どのようなプロセスでなされているのか……。

### 党破壊の傷跡深く

柴田 文革後の中国の政治指導体制は、文革前ものとはつきり区別される。基本的な相違

は、文革で党組織そのものを破壊してしまったために、中国共産党の全国にわたる一元的な指導力が弱まった点にある。その後の変化もあつたが、この特徴は今に続いており、党機構もなお再建過程にあつて、以前のような指導力を回復していない。

政治機構としても、國務院を指導すべき党中央の実務組織が弱体化している。書記局とかその下にある宣伝部とか、存在するのかもしれないのはつきりせずその長もわからない。おそらく政策決定の中心になつていのは政治局で、たとえば、批林批孔運動の最中の地方軍区司令官の大転な更迭・異動、鄧小平(元

党総書記)の政治局員への登用などは、政治局または政治局拡大会議で決められたと思う。

しかしながら、実際に政治を動かしているのは、やはり中央では國務院、地方では革命委員会が中心ではないか。たとえば

鄧小平が党の中で地位を回復する前に、國務院副総理として復活したのみでも、行政が党によって必ずしも完全にはコントロールされていないようだ。

また、昨年一二月の地方軍区司令官の大転異動も、文革後ずっと続いてきた「軍が党や行政を指導する」という地方での政治形態を是正するための試みだったと解される。現に、党の指導力回復、一元化指導ということが非常に強調されている。

批林批孔運動も、当初は脱文革化の動きに歯止めをしなればという、文革派からの巻き返りであったとみられるが、最近では革命的大連合や団結を強調することによってこれを收拾しようという傾向が強まっており、國慶節式典での失脚幹部復活もこの一環とみられる。

今後は、昨年の十全大会で決まった党指導体制を国家指導体制に結びつけることが課題となる。さしあたるの具体的目標は全国人民代表大会の開催であり目下その方向に進みつつある。

しかし、大連合や団結を叫ばねばならないということ自体が





大久保 泰氏

革命外交と国家外交の関連は党内の論争になっていたが、資源総会での鄧の演説をみると、

それぞれプラス、マイナスを総合した、かなり大胆な世界革命戦略といったものが提起されていると思う。中国自身を発展途上国・第三世界に属する社会主義国と規定し、アラブの石油闘争を強く支持している。海洋会議では二〇〇〇説を主張し人口会議でも人口抑制策は超大国の陰謀だと、大胆かつラジカルな問題提起をしている。

中国自身が多くの試験を経て新たな戦略を立てざるをえなくなり、かつ最近の国際情勢がそれに適した方向に展開してきたことが背景にあるのだろう。

同様に内政面でも、いろいろな潮流があるけれども、とにかく今は毛・周以後へスムーズに移行するためということで、大連合、大同団結が表面に出てき

た。それが、今度の国慶節に、失脚幹部オンパレードで、そろそろ出てきたことにつながるのではないか。

そうした中で、林彪事件に巻き込まれず、文革派、脱文革派から等距離にいた鄧が、キー・パーソンとしての役割を果たすようになってきたと思う。

### 中心は毛か周か

大久保 中国の今日の指導層に特徴的なことは、トップと下部はあるが中間が欠けていることだ。一九三〇年代に入党し、

抗日民族統一戦線で活躍した連中には優秀な人材が多かったが、かれらを指導していたのは劉少奇、彭真らであった。ところが文革によってこのグループが一掃されたため、大きな空洞ができてしまった。

しかし、理想だけでは政治は動かぬ。やはり実務的な政治、行政が必要だということが文革後にわかってきた。それが鄧の登場につながったのではないか。

さらに昨年の十全大会では、中央委員が二〇名、候補委員が

一〇名復権し、今年八月一日には九人の将軍が復権、そしてこの国慶節前夜祭では三十数人が復権している。これらの大部分は、抗日戦線で活躍しながら文革で追われた人材、または有能なるがため林彪にきらわれた軍人だ。『改悛の情頭著であるから』というような名目をつけて復讐させざるをえなかったのは

やはり実務家がいなくて、党の団結も国の運営もできないというところにあったと思う。

柴田 ただ、昨年八月に批林批孔が始まってから大団結をうたうまで、非常に長い時間がかかっている。ここにやはり、中国の現在の政治構造の特殊性が看取できる。つまり、政治局といえども雑多な派閥の連合体であって、利害関係の一本化には時間がかかる。『紅旗』などをみても、二通りも三通りもの違った主張が出ていて、一本化されていない。

このことは、逆にいえば、やはり毛のリーダーシップがかなり弱まったことに起因していると思う。毛沢東思想の解釈権をめぐって各派が争うというのは

解釈そのものが、毛自身からはなかなか出てこないことを意味している。

そして、これについては、やはり毛の老齢化という事実を考慮しないわけにはいかない。毛が肉体的にも、精神的にも健全だという保証はどこにもない。文革発動時には健全だったとしても、あれからすでに八年たつ。

七〇代、八〇代における八年間はかなり大きい意味をもつはずだが、日本の中国論議はそれを一切無視しているというのが不思議でならない。マルコス夫人との会見フィルムを見ても、目の動き、表情、身体の動きなどは、非常に鈍っているんじゃない。

この老化する毛をたすけてきたのが周だ。もし、毛自身の指示で鄧が出てきたのなら、周はもっと引つ込んでよいはずだが、やはり出ている。国慶節でも周が主催しており、いまでも依然として周が中心になっている。

鄧については、周以上に文革派からの抵抗が大きいし、周に

かわる後継者とは、まだはつきりみなしにくい。鄧の仕事は

緑と光の街づくり

# 森ビル

取締役社長 森 泰吉郎

東京都港区芝西久保桜川町2番地  
東京 都知事 591-1351(大代) 105  
東 都知事 (1) 第15762号



りも対外関係だが、李先念とほぼ同等に分担し合っており、両者とも周の代理であるということとを強調しながらやっている。

大久保 ほぼ賛成なのだが、ただ一点、私はリーダーシップは毛が握っているとみている。確かに、対米、対日外交などの華麗な大転換の立て役者は周だったが、これも毛が発議し周と協議して決めたものだろう。

七〇年五月に、毛は「われわれの闘争の最大の目標は米帝国主義である」と、はつきり言っ

ている。それが七一年にはパツと変わる。いかに建前と本音の食い違いが最近の中国共産党の最大の特徴だといえ、これだけの大転換をやるのは毛の力以外にない。

また、毛は江青夫人を自分の後継者にしたいと考えているのではないか。そのためには、自己のリーダーシップに対する周の脅威を徐々に除去していきたい。批林批孔の中の周批判などの背景にもそれがあるとみている。

### 危機感から出た

#### 「大同団結」

柴田 毛が江青を後継者にしたいというのは、推理として成り立つにしても、根拠に乏しい。かりに、毛が文革派の中から後継者を選びたいという主観的願望をいだいたにしても、実際に十全大会ではその後継者構想は実現できなかった。だから、単なる想像でなく、具体的事実から見ていく限り、やはりそこに毛の指導力低下が認められるのではないか。

もちろん、毛が権威とか威

信を持つているのは確かだ。周ですらそれを尊重し、それを利用しながらやっていたいさざるをえない。だが、権威や威信と、実際の政策決定における指導力とは別物だと私は思っている。

米中接近にしても、周は確かに毛の名においてやっている。しかし、左派からは、これは周の策動だという批判文章が出ていうという。いずれにせよ、毛が自ら発案し周にやらせたのか、それとも周が毛より柔軟な能力を持っていて、対ソ関係への配慮から米中接近を立案し、毛のOKを取ったのか、ではずいぶん違ってくる。

大久保 たとえば、さきに伝えられた新憲法草案をみると、「毛主席は全国各人民の偉大な領袖であり、わが無産階級専制国家の元首、全軍の最高統帥者である」とうたっている。これは毛のリーダーシップの確認と

はみられないか。

柴田 しかし、「林彪は毛の後継者であり、親密な战友」とした党規約も、わずか二年で吹き飛んでしまった。

大久保 また、たとえば党の

最高機関たる常務委の構成をみても、ほとんどを文革派が占めている。毛のほか張春橋、王洪文、李德生、康生と九人中五人が文革派。そして、この派の親方が江青だと私は見ている。

他方、周恩来派は周と葉劍英の二人だけ、中間派として朱徳、董必武がいるが、この構成をみても文革派の勢力は非常に強大だ。さらに、中央政治局二十六人のうち、文革派が二人、周恩来派が八人、それから中間派。

このように、党機構の中で文革派が非常に強いことは、毛のリーダーシップをささえる勢力が強い、というように私は受け取っている。

中嶋 林彪事件、陳伯達の失脚、それに現在の脱文革的状况をみても、文革は結局のところ挫折した。この点から、毛が従来のような影響力を失ったことはいくらでもあるまい。

そこで周は、いわば国家的使命感に立脚して脱文革を考えたのではないか。中国を国際化時代に引き入れた米中接近も、周の大きな戦略であつたらう。

周は非常に深い戦略を立てて

いたと思うが、それは、毛の権威を立てながら中国社会を徐々に非毛沢東化していこうとしたものといえよう。ところが、批林批孔以来、この周戦略にかげりが見えてきた。

国際的階級闘争を忘れているとか、いろいろな批判が出てきた。壁新聞の多くは明らかに革命委を批判していたが、行政機構たる革命委批判は、当然上層機関たる國務院つまり周への批判を含んでいるわけだ。そこで周の指導力低下に伴い登場した鄧がとりわけ注目される。

鄧の国連資源総会での演説を私が重視する理由は、そこに、従来の造反外交・革命外交でもないし、また周の国家外交だけでもない、新しい状況に対応した世界戦略があると思うからだ。それも、単に毛に命ぜられた作文ではなく、中ソ論争で渡り合ったいかにも理論家鄧小平らしい一つの世界認識が浮き彫りにされている。

現在、中国が大同団結の方向にあるというのは、国内がうまくいっているためではなくて、すべての者が毛なき後に対し深

刻な危機感を持つているためだ。いまの政治的混乱、激動が続いたら中国自身がどうなるか、という危機感に加えて、一方、天下大いに乱れるという国際情勢を考えると、周に対する批判があっても彼を失脚させるわけにはいかない。他方、文革派についても、国家的な見地から歯止めをする必要がある。

そうした過渡的狀況が、いま現われているのではないか。

### 足踏みもたらした文革

本社 では、そうしたさまざ

産業機械・建設機械・建設資材/海運

# ナラサキ

## 檜崎産業株式会社

東京都港区東新橋1-1-21(今朝ビル) ☎03(572)5751(本)  
支店/札幌・仙台・名古屋・大阪 営業所/全国30か店

まな中樞での変化は、はたして大衆とのフィード・バック関係の中で進められてきたのだろうか。大衆の要求というものは、中央の政策決定、方向の選択にどうかかわっているだろうか。

柴田 脱文革化は、地方ではまだまだテンポが遅れていて、それがために、むしろ中央でこれ以上権力闘争をやれなくなっている。というのも、文革は広範な大衆を團結させるよりも、むしろ「階級闘争」を叫びながら互いに主導権を争うという風潮をいたるところにつくり出してしまった。

このため、単に文革派對実務派の対立を生むだけでなく、さまざまな部門、地方にわたって、党中央の一元的指導に必ずしも沿わぬという傾向が生まれ、たとえば生産へのエネルギーが集中できなくなっている。また、軍の問題はやはり非常に大きい。文革をささえた林彪およびその勢力を一掃するのはたいへんで、林彪事件はやはり敵を大きくする結果になったろう。

また、文革の先頭に立ちながら、地方農村へ下放された学生

たちの、毛、周、ないし文革に対する批判や不満にも根強いものがあるだろう。

都市にいる学生も、文革、脱文革、批林批孔の中の教育シ

文革や批林批孔を唱えてみて

も、中国の国家建設、社会主義経済建設にどれだけ実質的なプ

ラスがあったか、というところ大いに疑問だ。文革は、社会主義建



期待される人間像

STEMの混乱で、大きな影響を受けた。理科系、技術系の学生が安定的に供給され、中国の工業発展を担うという形にはなっ

設をめぐる毛、劉の論争を背景として始まったが、結果として権力闘争の形となり、しかも、建設のビジョンや展望はいまなお生まれていない。これは非常

に不幸なことだ。

だから、全国人民代表大会も開けないし、経済の実質的な停滞がずっと続いている。アメリカや日本、西歐への接近を図らざるをえなくなったのも、対ソ戦略上の必要だけでなく、この間大きな技術格差が生じてしまったからだ。

こうした政治的不満や不信、経済的停滞は、大きな底流として存在する。そして、直接的な形では反映されないけれども、中央指導部内の対立をいつまでも続けられないという状況を生み出した。こういう底流をもっと重視すべきではないのか。

### ウィーク・ポイント

大久保 賛成だ。中国の現実をみてゆくと、四つのウィーク・ポイントがあると思われる。第一が軍の土着化の問題だ。周知のように、中国紅軍は根拠地主義を土台として育ったが、新中国建国にあたり第一方面軍から第五方面軍まで、国共内戦で占領した地域に土着してしまっただ。軍の司令官は、党の実権も握れば、行政・生産面にも大

施工ニュース  
日石樹脂化学株川崎工場緑化工事と維持管理  
環境緑化・緑地土木・設計施工・監理  
**前田造園株式会社**  
代表取締役 前田正登  
〒230 横浜市鶴見区下末吉5-8-29 ☎045(581)4547

きな発言力をもつ、という形が一〇年、二〇年も続き、地方王国を形成してしまっただ。軍司令官や軍長に異動命令が出ると、軍隊をそのまま連れて移動するといった実態だ。これをなんとか打開して、近代化、合理化したいのだが、いまだに成功していない。「党が軍を支配せねばならぬ」とさかんに言っているのも、実はこのためだ。第二が、生産意欲の低下の問題。内戦後、土地をともかく農民に分配したが、後に集団化というところで取り上げられた。私

は人民公社化によって、農民の生産意欲が非常に低下したとみている。そこで、劉少奇らは自留地を広げるなどのインセンティブ・ポリシーをやった。これが資本主義につながる道だというところで、毛・劉論争の口火になった。

最近中国から帰った人の話でも、農村の生産意欲の低下は著しい。文革後、集団化が再び強化されたため、農民はノルマだけしか働かないようだ。

第三は、八〇〇万人にも達するという下放青年の問題だ。彼ら学生が農村に行かされたのは

### ●ポスト毛沢東●

## 軍を制する者

## 中国を制す

本社 しかし、そのあたりの事情を、わが北京特派員諸氏はなかなか書いてくれない。

### 根深い大衆のアバシー

柴田 いや、いま大久保さんがいわれたようなことは、帰国者の話を聞くまでもなく、注意深く読めば『人民日報』にも出

結局、就職口がそんなにかからなかった。だから、農村で三年でも四年でも働かざるをえない。下放に対する強い不満がある。

四番目が大学制度の問題。高卒者はほとんど農村に下放されており、大学にはいるには人民公社の推薦がいる。ところが推薦されるには人一倍働かなくてはならないという。推薦制でやってみると、基礎知識が乏しかったり、学力にバラつきがあったりして、講義をするのがむずかしい。中国がかかえている問題は、だいたいこの四つに集約してよいと思う。

中嶋 いまの問題でいえば、現在の中国の大衆とくに若者は一種の政治的アバシー(無関心)の状態にあると思う。今後状況が大きく変わらなにかぎり、彼らとしては、面従腹背、事なかれの態度をとらざるをえないだろ

う。特に青年の挫折感は深刻だと思う。

たとえば、日本の新聞では、林彪の失脚後に、彼が生産力第一主義であったとか、彼の軍事路線が反毛沢東であったとか解説している。だが彼は、政治的に失脚したから、それらの理由で攻撃されているにすぎない。そうした非常に大きな価値観の變化は、われわれ外にいる者にはさほどでなくても、中にいる大衆には深刻なショックを与えているはずだ。こうしたところから大衆のアバシーが生まれる。

これも日本の新聞はあまり報じないが、最近香港への難民が非常に多い。今年上期に香港政府に保護された者が約三七〇〇名。実際には、その五倍、少なく見る人でも三倍はあるといっている。

「ニューズウィーク」その他にも出ていたように、非常にドラマチックな形でひどい危険を冒してやってくるわけで、その成功率は七割だという。ところが他地域の難民と違って、国連の常任理事国である中

国からの難民問題は、国際的にタブーになっている。

つまり、いわば顕微鏡的な部分の中国はますます輝かしい発展をするが、その反面で、そういう密教的な中国社会の一つの反映として香港難民の問題があるわけだ。しかもそのルートは、革命委員会や党委員会など、公式の組織とは無関係な社会、いわば密教的な血縁・地縁社会のルートで難民が流出してくる。中国の内部充実がほんとうに裏付けられるためには、一つには全国人民代表大会などが正常に機能することが必要だが、もう一つは、香港への難民がなぜ出てくるかという問題が説明されねばならないと私は思う。

というのは後者も、中央と地方、政治と大衆といった関係を示す裏側からの材料にほかならないからだ。

### スローガンと現実の乖離

柴田 そういふ底流や現実がある以上、革命的スローガンや原則が形骸化し、理論と政策の乖離が出てくるのは必然だ。ところが日本の多くのマスコ



## 消防ポンプのトップメーカー

- 消防ポンプ自動車
- 消火器
- トラッククレーン

**森田ポンプ株式会社**

〒544 大阪市生野区小路東五丁目5番20号  
電話 大阪 (06)751-1351(大代表)



柴田 穂氏

「資本主義の道を歩む実権派」を追い出した後、いったいどんな新しい経済政策がとられたかということだが……。

ミは、向こうのいう原則、理論、イデオロギーを、同じ口調で日本の読者に伝えていくにすぎない。実は重要なのは、同じ原則、イデオロギーを繰り返しつつも現実には政策がどう変化してきているかを追跡し、分析することだ。中国の外交が従来と違って革命的でなくなっている時に「革命的外交の展開」を論じてものはずれだろう。

大久保 私も、たてまえなしは原則と実際の政策を二面的に見る、といつも言っている。この二面性は、アメリカ帝国主義は最大の敵だとし、日本軍国主義の復活を言いながら、また自力更生をうたいながら、遅れた工業水準を引き上げるために結局は、そのアメリカや日本から工業技術を導入せざるをえなかったところにもみられる。

本社 それに関連してどうにもよくわからないのは、文革で

うのは、まず不可能に近い。大久保 だから、反対派が追放したというよりはおのずから脱落して行ったのではないかと。

柴田 トップが、中国の社会主義建設はこういう路線で進めるのだということをはっきりと打ち出せない。そこにいろいろな悩みがあると思う。イデオロギーと政策のギャップも、じつは毛沢東の革命的な内外路線が現実から乖離しているところからくるものだ。ところが、そのイデオロギーを——批判できないのはもとより——掲げなくて済む時代がまだ多い。それは、毛沢東以後にまつ怪かないだろう。

革命委員会の中でも、造反派代表あるいは革命大衆代表はほとんどん姿を消している。北京など、一〇〇名前後の革命委員会委員のうち、革命大衆代表が当初二四名いたが、いまは一人しかいないと、壁新聞が批判している。 着実に行政や経済の実務を進めようとすれば、ペテランの幹部が出てこざるをえないわけだ。中国の一省は、人口でみても日本の三分の一ぐらいにあたるわけだから、省革命委員会の中で、いわばぼっと出の革命大衆が行政面の実績をあげるとい

うのは、まず不可能に近い。大久保 だから、反対派が追放したというよりはおのずから脱落して行ったのではないかと。

外交政策についてみなさんと議論をしたい。私は鄧小平の復活以来、中国は新しい世界戦略を立てたのではないかと思う。それは、従来のように、国家外交にウェイトを置くか、それとも革命外交に重点を置くかということではなくて、いわばその両者を含む総合戦略ではないか。

たとえばタイにサンヤ文民政権ができてから、中国も軍事代表団を受け入れ、タイ側から中国へのアブローチの瀬踏みも行なわれた。こうして両国の国交回復は近いのではないかとみられた。まさにその時期の八月下旬、新華社はタイの地方革命政権についての報道をしている。

新しい対外総合戦略？ 中嶋 経済建設については、私も同意見だ。それが指導権をとろうと、もう逆戻りできないところに来ている。つまり、自力更生をたてまえにしながらも、それが許容できる範囲でできるだけ西側の技術を学び、いわば富国強兵を図っていく以外にないわけだ。

ところで私は、最近の中国の

マレーシア(五月末国交樹立)もそうだ。国交交渉の間にも、国の革命ゲリラ勢力の問題も、内政問題だとみなすことで話がついたとみられた。ところが最近新華社は、タイとの国境近くで活動しているチンペイ書記長指導の革命ゲリラの「マラヤ革命の声」を伝えた。サラワクに残っている共産ゲリラの指導者の声明も新華社は報じている。

こうしたことは、中国の指導

こうしたことは、中国の指導

新しい交通システムづくりをめざす………

信号機器メーカーの

**KYOSAN** 京三製作所

部間の合意のうえでの二面作戦としてとらわれているのか、あるいは指導部内の亀裂の現われなにかを問題にしたい。

柴田 確かに中国の言論機関はアジアの革命勢力の問題を最近あらためて取り上げている。

かつて、ビルマのネ・ウイン議長をビルマの蒋介石と呼んでビルマ共産党を強く支援したのが、同議長を招待し、ビルマ共産党に対する支持をやめた。そのため同国共産党は大きな打撃を受けたと言われている。だが、こうしたやり方に若干修正が加えられているという感じがする。それが何をねらい何から出て来ているかだが、私は一つの繰り返しではないかと思う。

つまり、一時期国連にはいるために、周辺諸国への国家外交を活発にしなければならなかった。またソ連からの軍事的脅威に対抗するためにアメリカとの一定の外交関係も結ぶ必要があった。それが行き過ぎとされたのではないか。おそらくそれに対する、つまり周恩来外交に対する批判があつたに違いない。

鄧小平演説のどこに力点があ

るか考えると、私は米ソ関係に最大のウエイトが置かれ、米ソ対立が激化するという点を非常に強く見ていて、第三世界への支援という点でこれまでと変わったことではないように思う。どうしてそういう戦術が出て来たかだが、一つには対米関係の改善を緊急に必要としていた時期が一応過ぎたこと。もう一つソ連との軍事的対立が激化する可能性がむしろ下がっているということがありはしないか。

### 台湾を目標に対米牽制

柴田 そうすると、台湾をいったいどうするのが問題になる。いまの中国にとっては、台湾問題の解決が革命の一つのゴールであるだけに、対米和解にもかかわらずそれが達成されないことに対する批判もあると思う。

そこで今度は、アメリカに対しても外交的立場を強めなければならぬ時期に来ているのではないか。だから、アジアにおける革命勢力支持も、ソ連とのヘゲモニー争いというよりは、対米牽制の意味が含まれている

ように思われる。そこで興味深いのは、今後毛沢東が、アジアの「革命派共産党」指導者と会見するかどうかだ。

中嶋 その点私は少し意見が違ふ。中国は世界の九七カ国と国交を持つているのに、ASEANを中心とするアジアの周辺諸国との関係は正常化されていない。これは重大な問題だ。

にもかかわらず、周恩来が全面的にイニシアチブを握っておれば、「タイ人民の声」を地方政權ができていくというような形でとりあげることがはなかつたのではないかという気がする。「マラヤ革命の声」についてもしかり。

鄧小平演説も、毛沢東の言葉を引用して、「当面の世界のおもな傾向は革命である」ということを一本入れている。

柴田 そういう言葉はいつも出てくるように思う。

中嶋 私は、やはり従来の国家外交一点張りの路線に対する批判がかなり出ていると考える。そこで初めに問題提起したように、国家外交や革命外交に一面的に偏することによるマイ

ナスを調整した、新しい外交戦略を打ち出してきているとみるわけだ。

柴田 中国は、いわゆる第三世界を支援するという原則を打ち出しているが、現実にはそれだけの能力があるとはいえないし、またそこに非常に大きなエネルギーを使っている形跡もない。今の中国にとって、最大の国家目的は何かといえば、西側に依存してでも工業建設を進展させようということだろう。

したがって、全体的な観点からみると、アジア革命勢力の支緩ということは、やはり非常に小さな部分にすぎないという感じを受ける。

中嶋 ただ、中国はいわば自己完結的な資源保有国であつて、日本とは決定的に違ふ。そして、たとえばアラブの闘争をおおって石油価格が上昇すれば中国の利益にもかなう。

柴田 それはそのとおりだ。

中嶋 それに関連して、日中関係におのずから限界があることも考える必要がある。

本社 最後に、毛・周の両指導者がいなくなったあとの展望

について……

### 毛沢東批判はあるか

大久保 党のリーダーシップを形成する中央政治局常務委員は六人、平均年齢は六九・九歳。このうち三九歳の王洪文を除くと七三・四歳。毛沢東自身二月にはもう八一歳で、とにかく世界中でもこんなに老朽化した首脳陣はない。ここ二、三年あるいは一、二年内にもリーダーシップの交替期を迎えることは明らかだ。

ただし、その交替期は、ボス

豊かな明日を築く

丸三証券

本店 東京 日本橋2-52 TEL 272-5211



中嶋謙雄氏

ト周とポスト毛の二つに分ける必要がある。第一に、周恩来は現在病氣である。それがどの程度なのか、心臓病とすれば、次の全国人民代表大会で首相としての地位を保てるかどうか。それにかわるのはおそらく鄧小平だろう。この場合の交替は、スムーズに行くのではないかと。ところがポスト毛が問題だ。集団指導とはいっても、やはりキャップがなければならぬわけで、路線問題も含めたキャップ争いのために、毛沢東なきあとには大きな混乱期を迎えるのではなからうか。

東にとつて一つの救いになるのではないかと気がする。つまり毛沢東は、死後自分がスターリンのような状況に置かれるのではないかと、たえず意識の深部で懸念しているとみられるからだ。ポスト毛・周で私は四つぐらい仮説を考えている。一つは、たとえば鄧小平にせよ、または鄧小平的な人物にせよ、いわば合理主義者がリーダーシップをとった場合、かつて鄧小平が八全大会で個人崇拜を非難したように、毛批判をやるかもしれない。その場合あるいは周恩来も批判の対象になるかもしれない。一〇年間にわたって全国人民代表大会を開かなかつたということも、問題点の一つとなる。この場合には、大久保さんのいわれたように、過渡的にせよ混乱が起きるだろう。

### 開かれた中国へ

ここに第二、第三のパングラデシユが出現する可能性も否定できない。混乱に乗じてソ連が介入し、民族自決権をたてに分離独立を支援することもありうる。

中嶋 第三に、実はもっと明るい可能性もありうる。毛沢東という民族的な英雄を失ったという状況のもとで、逆に団結することも考えてよいだろう。その場合、後継者問題がスムーズに行けば、対外的にも開かれた中国に向かい、また徐々に国内を固めて行くだろう。

ただ、社会主義国で集団指導がむずかしいだけでなく、中国民族の体質からしても、それは困難だという気がする。つまりリーダーシップをになう特定の人物が登場する可能性が大きい。それが文革派であれば、王洪文よりも張春橋のような人物がのし上がるのではないかと。

逆に第四の可能性として、非常に大きな転換が行なわれ、毛沢東型の社会主義建設を否定するような形で、中国を開かれた社会にすることもあげられる。

本社 毛沢東型社会主義に置きかわるものとは……。

中嶋 それはむずかしい問題だし、またその可能性は少ないと思う。しかし、ソ連、東欧の場合も、内部では一種の自由化の方向が強い。中国でもこれまでが非常に閉ざされた社会であっただけに、他の価値観がインプットされると、急激にその方向に移行する可能性もある。

柴田 私は、十全大会の党規約が毛沢東同志の名を全廃削つたのは毛以後に備えたのだと思う。現在日本に伝えられている憲法草案は毛沢東の名前を書き入れているが、これは一年前のものであって、毛以後を考慮してすでに落とされているかもしれない。

毛以後を考えた場合、周恩来が生きている限りは、やはり文革派に対する大きなカベとなつて作用しようし、当然鄧小平や軍幹部たちもそれに同調すると考えられるので、やはり現実主義的な実務派優位の方向に行こう。この場合は、あまり衝撃はないと思う。

中嶋さんがいったような、

## 頑丈でサビに強い 三晃式折版構造屋根

長尺屋根・鉄構建築・金属建材・鋼製プール



三晃金属工業株式会社

東京都中央区宝町2丁目2番地 第1丸利彦ビル  
TEL 03 (567) 3551(大代表)

ターリン批判的な名ざしの毛批判は行なわれたいと思う。それが中国流のやり方だろう。

それから周恩来が先に死んだ場合、鄧小平に周恩来的な能力が完全にはないとすれば、文革派は勢いづくだろう。この場合は周恩来時代よりもコンセンサスがむずかしい。しかし、それはたして実務派が握る内外政策そのものまで変えられるかどうか。いまのところ文革派が、文化・教育・学術部門で暴れ回っているのは、むしろ彼らの力の限界を示すものだ。

中国の現実とは、すでに毛沢東主義から離れてきている。毛沢東がいなければ、大躍進、文化大革命、批林批孔といった革命的運動に大衆を動員する、いわゆる連統革命のイニシアチブはなくなると思われる。いずれにしろ中国は、現実主義的な方向に進まざるをえない。

**軍を握る人物が...**

大久保 私も、政治、経済、外交すべてにおいて、現実路線に向かわざるをえない。かりに文革派がリーダーシップを握ったとしても、より開かれた方向をとらざるをえないとみる点では同意見だ。

ただ、すでに述べたように、毛沢東のリーダーシップについて

の考え方は、柴田さんとは違う。このため、ポスト周とポスト毛を比べた場合、前者は比較的スムーズにいくが、後者は、毛沢東の存在があまりにも巨大であるだけに、非常な混乱をもたらすことがありうると思う。

柴田 開かれた中国とはいっても、外に向かつて全開を開くことは無いと思う。

それから、いくら私が実務派有利といっても、それは要するに、毛沢東が死ぬまでに彼らが党の指導力をどこまで握ることができるとかによると思う。

毛・周後はカリスマ的な指導者はもう出ないわけで、中央では依然として、実務派と文革派の生き残り、それに軍という一種の三結合的な連合の状態が当

面続くことになろう。

中国では集団指導制は成り立たないというが、毛・周といつた革命の英雄が去った後は、やはりどうしても小型周恩来的な人たちの集団指導制にならざるをえないだろう。その場合、文革派の生き残りは、毛以後は政治力の真価を問われて淘汰されていくだろう。

た例えば王洪文にしても、あれだけの若さで上がってきたのは、何も彼の実力がほかの四〇代、五〇代の幹部よりも抜きん出ているからではないのであって、一種のシンボリックな役割を負って引き抜かれたもので、その将来は全く未知数だ。

中嶋 最後に一つ。毛・周はカリスマであり、統合のシンボルであっただけに、それがなくなると、階で混乱が起きるといったが、ある期間の混乱を経てだれがリーダーシップをとるかといえ、それは軍を握った人物だと思ふ。

国民党が天下を取ってからの中国の歴史がそれを物語っている。孫文が統一を達成できなかったのは、結局地方軍閥が割拠していたからだ。ついで、孫文の後継者が汪兆銘でなく蒋介石にいったのは、汪が文人であった軍を握っていなかったことが決定的だった。毛沢東も、まず軍事委員会を掌握し、それから中央委員会の主席になった。したがって軍の動きを十分注視する必要はある。

もう一つ、私も中嶋さんがいわれたように、中ソ対立を絶対視すべきでないと思う。毛沢東後は、おそらく中ソで争わなければならぬものはないからではないか。それに中国の核武装が充実すると、中ソが八〇〇〇\*という国境線で接しているだけに、相互抑止力が働いて、かえって共存体制に移行せざるをえないという可能性も、十分に考えておかねばならない。

\*会員権の売買は  
ご決定前に  
是非当社にご相談下さい

**最近の相場**

TEL (669) 1901代

青小相模立多東筑八G府武	金ヶ	梅井丘	540	30	27	丘	18	河
3800	460	820	40	18	丘	18	河	
400	325	400	30	36	丘	18	河	
460	400	400	30	36	丘	18	河	
350	400	400	30	36	丘	18	河	
1350	890	500	30	36	丘	18	河	
90	90	90	30	36	丘	18	河	
1300	1300	370	40	18	丘	18	河	
370	370							
松八	茨城	果丁	35	18	河	145	27	
アジ	アジ	アジ	150	20	18	林	150	
ア	ア	ア	650	18	河	430	36	
ア	ア	ア	330	40	27	林	280	
ア	ア	ア	1100	30	36	林	280	
ア	ア	ア	240	30	18	林	160	
ア	ア	ア	540	30	18	林	160	
ア	ア	ア	100	30	18	林	160	
ア	ア	ア	120	30	18	林	160	
ア	ア	ア	700	40	30	林	700	
ア	ア	ア	470	20	27	丘	750	
ア	ア	ア	750	40	18	林	300	
ア	ア	ア	100	20	18	林	85	
ア	ア	ア	100	20	18	林	105	
ア	ア	ア	125	15	27	丘	70	
ア	ア	ア	70	15	18	林	330	
ア	ア	ア	550	30	18	林	120	
ア	ア	ア	150	30	27	丘	95	
ア	ア	ア	160	20	18	林	180	
ア	ア	ア	180	20	18	林	330	
ア	ア	ア	55	10	18	林	125	
ア	ア	ア	180	30	18	林	210	
ア	ア	ア	80	30	18	林	115	
ア	ア	ア	350	50	27	丘	150	
ア	ア	ア	220	50	18	林	550	
ア	ア	ア	500	40	18	林	210	
ア	ア	ア	500	40	18	林	120	
ア	ア	ア	100	20	27	丘	100	
ア	ア	ア	280	30	18	林	35	
ア	ア	ア	170	30	18	林	400	
ア	ア	ア	150	30	27	丘	35	
ア	ア	ア	530	30	18	林	500	
ア	ア	ア	270	30	18	林	250	
ア	ア	ア	95	10	18	林	95	
ア	ア	ア	55	10	18	林	55	
ア	ア	ア	85	10	18	林	85	
ア	ア	ア	110	10	18	林	110	
ア	ア	ア	110	10	27	丘		

**日之出ゴルフ**

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員

東京都中央区日本橋蛸蛸町1-2  
(第一日之出ビル)

TEL (669) 1901代